

3

## 学校の内外環境の分析と特色づくり

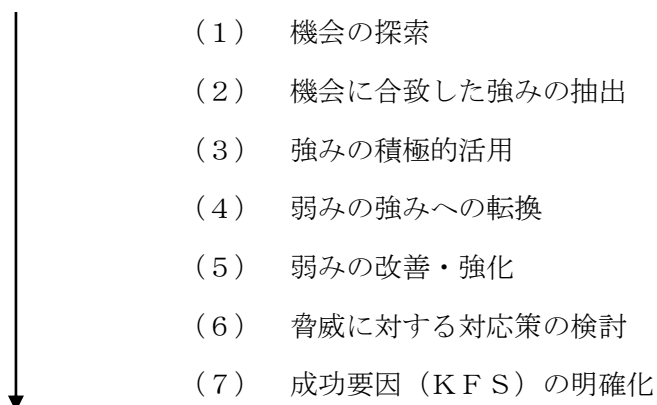
### 1 学校の内外環境の分析（SWOT分析）

SWOT分析とは、組織マネジメントのマーケティングに関連した手法で、学校の内外環境のうち、外部環境の要因を「機会（Opportunity）」と「脅威（Threat）」に分類し、内部状況を「強み（Strength）」と「弱み（Weakness）」に整理した上で、「機会（Opportunity）」と「強み（Strength）」を中心に把握・分析し、特色のある活動を生み出す手法です。

#### 1 学校におけるSWOT分析

〔外部環境〕	〔内部環境〕
(+) 支援的に働く場合（場面）	(+) 強み
(－) 阻害的に働く場合（場面）	(－) 弱み

#### 2 SWOT分析のプロセス



## 2 SWOT分析事例

### 1 SWOT分析事例（小学校）

外部環境の支援的要因（O）	内部環境の強み（S）
<p>〈自然・風土・環境〉</p> <p>① 校舎は緑に囲まれ、校区内には山・海・川・クリーク・田・畑・駅（鉄道）等があり、学習環境として恵まれている。</p> <p>〈歴史・文化・地域住民〉</p> <p>① 古墳や神社があり、それらについて詳しい方も3人以上いらっしゃる、探求学習がしやすい。</p> <p>② 神社の秋祭りでは、4つの地区が地域の方が指導された子ども浮立を奉納される。これを含め、地域行事を通して、児童を育成しようとする姿勢がどの地区も見られる。</p> <p>〈産業〉</p> <p>① 農業では、米、麦、タマネギ、大豆が作られ、漁業では、漁、海苔作りなどが行われている。地場産業の学習が容易である。</p> <p>〈家庭・保護者〉</p> <p>① 授業参観は7割を超える保護者が来校されるなど、学校への関心が高く、協力が得やすい。</p> <p>② PTA活動が盛んで、学校のための活動が多い</p> <p>〈教育委員会・関係諸機関〉</p> <p>① 緑の少年団に参加を申請する事で、美化活動に関する予算付けを行ってもらえる。（町当局）</p> <p>② 様々な体験活動を企画し、高学年は年間3回以上他校児童との交流を図る場を設けられる。</p>	<p>〈児童〉</p> <p>① 児童数が少ないため、ほとんどの児童が全校児童の名前を知っており、温かい雰囲気の学校づくりにつながっている。</p> <p>② 人数が少ないため、活躍する場を与えやすい。</p> <p>〈管理職・職員〉</p> <p>① 学校長は地域の行事に進んで足を運ばれるため、地域・保護者からの信頼が厚い。そのおかげで、学校からの講師の依頼が行いやすい。また、授業参観、授業実践を通じて、職員の実践力を高めようと努められていたり、悩み事の相談にのったり、たまに差し入れをされたりと職場の良い雰囲気作りに努められている。</p> <p>② 職員数が18名のため、話し合いや情報の共有化が図りやすく、何事にも即時対応ができる。</p> <p>〈施設・設備面〉</p> <p>① 教室の横がワークスペースとなっており、広いスペースでの活動が可能になっている。</p> <p>〈ノウハウ・システム面〉</p> <p>① 平均年齢が45才を超えるため、経験が豊富で様々なアイデア・指導方法を持つ職員が多く情報を簡単にもらえる環境にある。</p> <p>② 職員会議では否定的な意見はあまり出ずに、良い教育活動を行おうとする雰囲気がある。</p>
外部環境の阻害的要因（T）	内部環境の弱み（W）
<p>〈自然・風土・環境〉</p> <p>① 様々な危険因子があり、児童が事故に遭わないよう、適切な指導が必要。</p> <p>② 危険因子が多いため、安全面の問題から校外学習などの活動が制限される。</p> <p>〈歴史・文化・地域住民〉</p> <p>① 地域から協力していただける分、地域からの要請（地域行事への参加依頼）も多く、できる事、できない事の判断が難しい。</p> <p>〈産業〉</p> <p>① 農繁期・海苔生産の時期は、家に子どもだけにいるという家庭が多い。そのため、子どもの生活が崩れたり、協力を頂けない時期がある。</p> <p>〈家庭・保護者〉</p> <p>① 三世代家族が6割を超えるが、その中でひとり親という家庭も1/3あり、複雑な事情を持つ家庭が多い。学校からは見えない問題もあり、学校からのお願いや集金など、気を遣う事が多い。</p> <p>② 単学級であるため、保護者同士の関係も6年間かわらず、不満を持たれている保護者の対応に苦労する事がある。</p>	<p>〈児童〉</p> <p>① 引っ込み思案な子どもが多く、多人数の前で緊張のために力が出せない事が多い。</p> <p>② 固定化された人間関係のため、自浄作用が働きにくく、問題が見過ごされる場合がある。</p> <p>〈管理職・職員〉</p> <p>① 1人で幾つもの校務分掌を持つために、提案が煩雑になり、学校が潤滑に動かない事がある。</p> <p>② 地域の特性を知る、目を向ける職員が少なく、地域の素材を活かした授業に上手く結びつけられない事がある。</p> <p>〈施設・設備面〉</p> <p>① 校舎の構造が複雑で、室温がもの凄く上がる教室や風が通らない教室、ホルムアルデヒド濃度が高い教室など児童への安全面が問われている。</p> <p>〈予算面〉</p> <p>① 予算が年毎数%ずつカットされ、行事を含めた学校運営全体での見直しが求められている。</p> <p>〈ノウハウ・システム面〉</p> <p>① 行事の精選ができず、減らずに増える状況が続く、負担が増大している状況が続いている。</p>

## 2 SWOT分析事例（中学校）

外部環境の支援的要因（O）	内部環境の強み（S）
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的にも有名な祭りがあり、地域が一つとなって参加する。</li> <li>地場産業を利用して職場体験が行われる。</li> <li>地元の人が多く、地域同士のネットワークがある。</li> <li>保護者が本校の卒業生も多く、理解がある。</li> <li>学校行事（体育大会・文化祭・合唱コンクール等）には参加率が高い。特に、合唱コンでは保護者の合唱団が出来るほどである。</li> <li>P T Aによる校区内の川清掃や校内の美化活動がある。</li> <li>保護者や保護者OB「花の応援団」があり、校内の緑化活動に協力してくれている。</li> <li>地域の人・P T Aによる挨拶運動。</li> <li>三世帯家庭が多く、生徒（孫）との関わりが大きい。</li> <li>N P O法人総合型地域スポーツクラブが校区内に存在し、スポーツに親しむ機会がある。</li> <li>生徒会活動であるアルミ缶回収・牛乳パック回収などに地域や保護者が積極的に協力してくれる。</li> <li>地区懇談会を開き、交流を深め、学校理解を得る場ができる。</li> <li>保護者とのスポーツ交流（バレーボール大会）がある。</li> <li>福祉体験学習で地域との交流がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は学校行事に積極的である。また生徒会活動にも意欲的に参加する。</li> <li>管理職（教頭）が本校に在職経験があり、地域や保護者とのかかわりができる。また、委員会経験も長く、あらゆるトラブルに対する対応が迅速である。</li> <li>校舎が古く、教室数が少ないため、教職員や生徒が意識をして「きれいな学校づくり」を心がけるようにしている。また、場の工夫をしている。</li> <li>20代、30代の教員が7割を占め、活気ある職場である。</li> <li>同僚性の構築ができる。</li> <li>新しいことに積極的に取り組む姿勢がある。</li> <li>積極的に家庭訪問を行ったり、保護者の理解に努力を傾けている。</li> <li>部活動にも熱心に取り組む。</li> <li>生徒指導面等で教職員の共通理解があり、同じ指導が出来ている。</li> <li>教員のチーム力は高い。</li> <li>不登校や虐待に対するカンファレンス会議など定期的に行っている。</li> <li>校務分掌や各種委員会等の組織の改正改良を積極的に実施している。</li> <li>「朝の読書」「終礼学習」取組の定着</li> </ul>
外部環境の阻害的要因（T）	内部環境の弱み（W）
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の祭りに執着し過ぎている。</li> <li>地域から外に出たがらない傾向がある。</li> <li>男尊女卑（祭りの影響？）の地域。</li> <li>田舎の古い考え方があり、世代によって意見がバラバラである。</li> <li>経済格差がある。地元の古い地域と公団団地の混在。</li> <li>学校に対する要望や苦情も多い。</li> <li>地区別で学校に対する協力度が違う。</li> <li>OB時代のことを持ち出され、「新しい学校づくり」が難しい面もある。古きよき時代を引きずっている。</li> <li>スポーツクラブと学校部活動のバランスが難しい。</li> <li>児童福祉施設があるが、なかなか地域に根付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師と生徒の年齢が近く、友達感覚でけじめがない。</li> <li>学習規律や学習習慣が定着していない。</li> <li>「荒れ」と「落ち着き」の時期の周期が短い。</li> <li>小学校時期からの人間関係を引きずったままの生徒が多く、対応に苦慮する。</li> <li>経験の浅い教師が多く、保護者や生徒への対応が未熟。</li> <li>年齢構成上バランスが悪く、学校運営が難しい。</li> <li>学習指導以外の部分が多く、教材研究などの時間確保が厳しく、授業力向上につながっていない。</li> <li>各校務分掌の運営がバラバラであり、連携がとれていない。</li> </ul>

3-(1) SWOT分析事例(高等学校:普通科)

外部環境の支援的要因(O)	内部環境の強み(S)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統校として認知され、地域から学校に対する苦情が非常に少ない。」</li> <li>・地域からの要望もそう高くないため、思い切った教育活動が企画できる。</li> <li>・市の中心駅より徒歩15分程度の地理的条件にあり、全県一区になった現在、より広範囲から生徒の獲得が可能である。</li> <li>・教育熱も高く「進路」をテーマにすると保護者も学校に来てくれる。</li> <li>・地域の経済・産業を支える中小企業に若手のOB・OGが多い。</li> <li>・通学路の途中にコンベンションセンターがあり、予算があれば様々な教育活動に活用できる。</li> <li>・家庭の転入・転出がほとんどなく、生徒は安定した人間関係の中で学校生活を送れる。</li> <li>・学校側が立案する学力向上に関する企画には教育委員会も支援的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3万5千坪を超える広大な敷地にホール、体育館2つ、グラウンド4面、トレーニングルーム、弓道場があり、土地・施設を利用した様々な活動を展開できる。</li> <li>・全普通教室にネットワークに繋がったPCとプロジェクタが設置されており、デジタル教材を活用した魅力ある授業が可能な環境にある。</li> <li>・普通教室にエアコンが完備されていて、夏休み中の学習指導が快適な環境で行われる。</li> <li>・1年生の数学と英語で20人程度の少人数指導を実施しており、基礎学力を細かく指導できる。</li> <li>・経験豊富な30代後半・40代の教諭が多く、ミドルリーダーを養成しやすい。</li> <li>・教師が教科指導ノウハウを持っている。</li> <li>・生徒数がおおよそ960人の大規模高であり、様々な人間関係の中で生徒は成長できる。</li> <li>・新入生の部活動加入率が7割を超え、放課後も活気がある学校である。</li> <li>・素直な生徒が多く、教師の指導に乗りやすい。</li> <li>・まじめな教員が多く、熱心に指導している。</li> <li>・学校裁量予算制度の導入により、教諭が学校経営に参画するチャンスが増え、新たな特色作りも可能である。</li> </ul>
外部環境の阻害的要因(T)	内部環境の弱み(W)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の周辺に百貨店やカラオケボックス等があり、誘惑が多い。</li> <li>・学校評議員や外部評価委員に適切な人材がないため、外部からの刺激に欠ける。</li> <li>・思春期にありながら、生徒と保護者の関係が良好な家庭が多く、生徒が最大限の力を発揮する前に保護者が甘やかしてしまうケースがある。</li> <li>・塾が多数存在し、中には学校の指導に批判的なものもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談室が職員室の前にあり、またカウンセラーも月に1回しか来校しないため教育相談体制が弱い。</li> <li>・教師どうしが責任の所在を明確にしない。</li> <li>・優等生的な教員が多いが、新たな提案等を行うような創造的な仕事に対する意欲が低い。</li> <li>・学校の広報活動が組織として行われていない。</li> <li>・生徒指導に教諭によつての温度差が出る。</li> <li>・外部の眼を意識することが少なく、教諭の社会的規範意識も低下している。</li> <li>・最終的な決定件は校長にあるとは言え、学校文化により分掌主任が互選で決まってしまう校長の経営方針が浸透しにくい要素がある。</li> <li>・教科主任が輪番制のため、会議での意思決定が停滞することが多い。</li> <li>・進学校として授業力向上に向けてのシステムが構築されていない。</li> <li>・大人しい生徒が多く、主体性、覇気に欠ける。</li> </ul>

### 3－（２） SWOT分析事例（高等学校：普通科）

外部環境の支援的要因（O）	内部環境の強み（S）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中では、「行きたい高校」として人気があり、ブランド力がある。</li> <li>・保護者は本校の卒業生が多く、学校に対して母校という愛着があり、学校に対して非常に協力的である。</li> <li>・文化祭・体育大会は毎年保護者や卒業生・関係者で満員御礼である。</li> <li>・駅から近く、交通の便が良い。</li> <li>・同窓会がしっかりしており、協力を得やすい。</li> <li>・東京方面を中心に各種業界で幹部クラスとして多くの卒業生が活躍している。</li> <li>・高大連携がしっかりしており、大学の協力が得られやすい。</li> <li>・地域の人々に厳しくも期待の目で見られておりやり方次第では協力を得られる。</li> <li>・近くに大学があり、補習等ではその施設を無料で使用できる。</li> <li>・地域マスコミの協力が得やすく、パブリシティがしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎完成が近く、完成すれば、その施設の充実度は計り知れない。したがって、学区生徒、保護者の注目と期待が大きい。</li> <li>・図書館と自習室が充実している。</li> <li>・質問スペースが充実している。</li> <li>・高校では珍しい大講堂がある。</li> <li>・トレーニングルームがある。</li> <li>・生徒は優秀で高い志を持っている。</li> <li>・部活動も盛んで、毎年複数の部が全国大会や近畿大会に出場している。</li> <li>・生徒主体の学校行事が多く、盛り上がる。</li> <li>・国公立大学を中心に毎年多くの合格者を輩出している。</li> <li>・事務部が充実しており、施設整備や備品の調達のはやい。</li> <li>・校内の至る所に卒業生を中心とした寄贈絵画が飾られている。</li> </ul>
外部環境の阻害的要因（T）	内部環境の弱み（W）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の期待とともに厳しい目もあり、交通諸事を中心にしばしばお叱りを受ける。</li> <li>・学区が広く、交通の便はいいが通学に時間がかかる生徒が多い。</li> <li>・近隣の公立校が単位制となり、人気上昇。女子生徒を中心に優秀な生徒が入学するようになった。</li> <li>・複数志願選抜のデメリットの影響を受けている</li> <li>・学区の中学校は様々な問題を抱え、授業が成立しているところとそうでないところの差が大きい。</li> <li>・中学受験をする小学生がここ5年で爆発的に増加した。</li> <li>・中学校の現状と日能研や浜学園の進出で、有名私学受験にますます拍車がかかっている。</li> <li>・しばしば地域高校生や若者から恐喝・暴行等の被害を受ける。（受けやすい）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド力に頼りすぎ、マネジメントにおいて後手にまわっている。</li> <li>・理念に対するビジョンや方針がわかりにくい。</li> <li>・生徒も教師も非常に多忙で、余裕がない。</li> <li>・授業の生徒・保護者評価が低く改善を要する。</li> <li>・不登校や保健室を利用する生徒が増加した。</li> <li>・志がある生徒のモチベーションを十分にあげられない。</li> <li>・補習と部活動の関係があいまいで文武両道がややようになってきた。</li> <li>・グラウンドが狭く、多くのクラブが入り混じって使用している。</li> <li>・新校舎になっても冷暖房施設がない。</li> <li>・組織の形態が古く、機能していない会議や委員会が多い。</li> <li>・職員が話をしたり、休憩できるスペースがまったくない。（校舎完成後も）</li> <li>・パンフレット等のインパクトが弱い。（例年通り）</li> </ul>

4—(1) 特別支援学校(知的)

外部環境の支援的要因(O)	内部環境の強み(S)
<p>&lt;自然&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋め立て造成された地で、県住、老人介護施設、商業施設、運動公園、個人住宅など計画的に造られており、街の構成が分かりやすい。</li> <li>・学校周辺には公園や遊歩道が多く、小学部児童には校外で楽しめる遊び場となっている。</li> <li>・海に近くヨットハーバーや人工浜があり、体力づくりで校外を歩く際に効果的な風景となる。</li> </ul> <p>&lt;地域住民&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史が浅く、住民の結びつきは薄い。そのため地域のキーとなる自治会長は学校に結着役の一端を担ってほしいと期待している。</li> <li>・〇〇エリアセンター代表者が好意的で様々なエリア行事に誘ってもらえる。</li> </ul> <p>&lt;関係機関&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺の病院に世話になる機会が多く、内科、外科、整形、歯科、眼科など気軽に利用できる。保護者の承諾を得てすぐ相談に応じてもらえる。</li> <li>・〇〇と〇〇地区におけるセンター校であるため、小・中学校の特別支援学級や通級指導教室とつながりがあり、様々な情報を入手できる。</li> <li>・児童相談所やハローワークにおける専門官とつながりが深く、問題が起こった時や進路指導の際に協力が得やすい。</li> <li>・就学前の児童施設や卒業後の福祉施設や作業所と連絡を密にとっており、幼少期の様子から卒業生の就労まで見通しをもち指導できている。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育に熱心な家庭が多く、学校の指導に協力的で関係機関にも積極的に相談をもちかける。</li> <li>・休日にも児童生徒は有意義に過ごしている。</li> </ul>	<p>&lt;校長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校を永く経験した後に管理職に登用されており、特別支援教育に関する専門性が高い。授業実践に対して、あるいはケースカンファレンス等の場での確かな助言を行うことができる。</li> </ul> <p>&lt;教職員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一から学校を作り上げていく！という覚悟をもって多くの教職員が集まっており、新しい試みにも積極的に取り組む。</li> <li>・若手が多く教師集団全体の雰囲気ははつらつとしている。行事の準備も手早くできる。</li> <li>・研修会の充実のため外部講師を頻繁に招いている。その他、教職員が講師役になり研修会を実施したり、体験型の研修会を企画したりして内容に工夫を重ねている。</li> </ul> <p>&lt;施設設備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てが新しいので、気持ちよく授業ができる。</li> <li>・特別教室の教室数が充実している。</li> <li>・図書室に紙芝居や大型絵本が豊富にある。</li> </ul> <p>&lt;カリキュラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な特別支援学校から教職員が集まっており、色々な実践事例の反省を生かそうとしている。</li> <li>・歴史が浅く、試行錯誤しながら組み立てている。実践して成果があったカリキュラムは残し、思わしくなかったものを淘汰している。</li> </ul> <p>&lt;児童&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由を併せ持つ児童もいるが、多くの児童は活動的で元気いっぱい遊ぶことを好む。</li> </ul> <p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス利用の他、自力通学ができる生徒も多く、クラブ活動に真面目に取り組んでいる。</li> </ul>
外部環境の阻害的要因(T)	内部環境の弱み(W)
<p>&lt;自然&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋め立て地であり、地震による津波や液状化、橋が壊れて陸の孤島になるなどの心配がある。</li> <li>・〇〇地区の端に学校が位置しており、夜間は人通りがほとんどなく、治安が良いとは言えない。</li> </ul> <p>&lt;地域住民&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民は移り住んできた人たちがばかりで結びつきは弱く、地区清掃など必要最低限の行事しかない。</li> <li>・〇〇へ働きに出ている人が多く、昼間は老人や子育て中の母親を見かける程度である。</li> </ul> <p>&lt;関係機関&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇市や〇〇市の教育委員会と連絡を密にとり表面的に連携できているようだが、意見がすれ違うことが多く、互いに疑心暗鬼に陥っている。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強熱心であるため、一定の指導方法の固執してしまい、職員と対立しクレーマーに転ずるケースも見られる。</li> </ul>	<p>&lt;校長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅が〇〇にあり、緊急時に学校に駆けつけるのに時間を要する。</li> </ul> <p>&lt;教職員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数が多く、学部が違うと関係が薄くなる。</li> <li>・専門的な知識を十分に有していない職員もあり、時に間違った指導を行っていることがある。</li> <li>・調理員やスクールバスの運転手及び介助員は外部委託の職員であるため、連携がとりにくい。</li> </ul> <p>&lt;施設設備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部向けの遊具や高等部の作業学習に必要な設備が十分に整っておらず、他の学校の設備を借りねばならない時もあり不便である。</li> <li>・運動場が狭く、全校で運動会を行うのが難しい。</li> </ul> <p>&lt;カリキュラム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な学校のノウハウが入り込んでしまい、個々の教職員が異なるイメージを抱えたまま授業を展開している場合がある。</li> </ul>

### 3 学校の特徴づくりに向けて

#### 1 学校の特徴とは

企業活動における特徴とは、「組織が保有する客観的特徴が、何らかの利点を持ち、その活用・発揮によって、顧客満足に資すること」を指す。

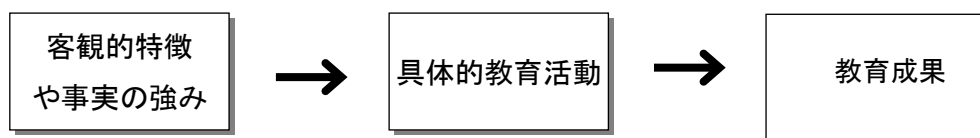
したがって、学校における特徴を考えると、

- 学校の外部環境や内部環境の客観的特徴や事実が、
  - 教育活動に対する何らかの利点を持ち、
  - それらを活用・発揮した活動によって、
  - 児童・生徒への教育成果に結びつくこと
- といえる。

#### 2 特色のパターン

	各パターンの内容
パターン1	外部環境の「 <u>支援的要因 (O)</u> 」を生かしたもの
パターン2	内部環境の「 <u>強み (S)</u> 」を生かしたもの
パターン3	外部環境の「 <u>支援的要因 (O)</u> 」と、内部環境の「 <u>強み (S)</u> 」の両者を生かしたもの
パターン4	外部環境の「 <u>阻害的要因 (T)</u> 」を支援的要因として解釈し直し、活動に反映させたもの
パターン5	内部環境の「 <u>弱み (W)</u> 」を「 <u>強み (S)</u> 」として解釈し直し、活動に反映させたもの

#### 3 特色の記述



- 特色とは、学校が提供する教育活動の特長ではなく、その活動によって子どもたちに与えた「わが校ならではの教育成果」である。

#### 4 【戦略マップメモ】わが校のSWOT分析

外部環境の支援的要因（O）	内部環境の強み（S）
外部環境の阻害的要因（T）	内部環境の弱み（W）



## 5 【戦略マップメモ】わが校の特色づくり

わが校の内外環境の強み	具体的教育活動	提供できる教育成果

## 6 校内研修での活用

### ●教職員支援機構（NITS）校内研修シリーズ

学校で実施する校内研修を60分と想定し、機構では20分程度の講義動画を提供します。この講義動画では、各テーマについて、基礎理論または理論的整理と考え方の提示を行っています。校内研修の始めに視聴し、それをふまえた演習・発表を行うことで、校内研修のさらなる充実を図り、教員の資質能力の向上を目指します。

### ●学校組織マネジメント（学校の内外環境の分析と特色づくり）：校内研修シリーズ No101

学校の内外環境分析手法であるSWOT分析と、それを踏まえて発見・発掘した学校の強みを活かした特色づくりのポイントについて解説し、さらに校内研修での活用方法にも触れています。

<https://www.nits.go.jp/materials/intramural/101.html>



### ●PDF 教材

<p>校内研修シリーズ（改訂版）</p> <p>教職員が育つ学校づくり ～校内OJTの考え方と進め方～</p> <p>兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一</p> <p><b>NITS</b> National Institute for School Improvement and Staff Development</p> <p>独立行政法人教職員支援機構</p>	<p>はじめに</p> <p>60分が基本パッケージ</p> <p>講義（動画） 約25分 演習 約25分 発表・まとめ 約10分</p> <p>研修後（学校の各場面で活用）</p> <p>全ての学校種で活用可能</p> <p><b>NITS</b> 独立行政法人教職員支援機構</p>	<p>目次</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の育成の基本事項</li> <li>2 校内での教職員育成の各種方策事例</li> <li>3 わが校での実践に向けて</li> <li>4 校内研修での活用方法</li> </ol> <p><b>NITS</b> 独立行政法人教職員支援機構</p>
---	---	---